

施設栽培葉ジソ(オオバ)における主要害虫の防除体系

葉ジソにはマデイラコナカイガラムシ、チャノホコリダニ、アブラムシ類などの害虫が発生し、大きな被害を及ぼしています。しかし、葉ジソは全国的には栽培面積の少ないマイナー作物であるため、登録農薬が少なく、防除に苦慮しています。そこで、農薬のみに頼らない総合的な防除技術を開発しました。

マデイラコナカイガラムシ

粒剤と微生物農薬の使用

定植前 ラグビーMC粒剤処理
↓
定植時 アルバリン・スタークル粒剤処理
↓
収穫中 ボタニガードESの定期的な散布
(多発時にはアルバリン・スタークル顆粒水和剤散布)



寄生状況

その他の方法

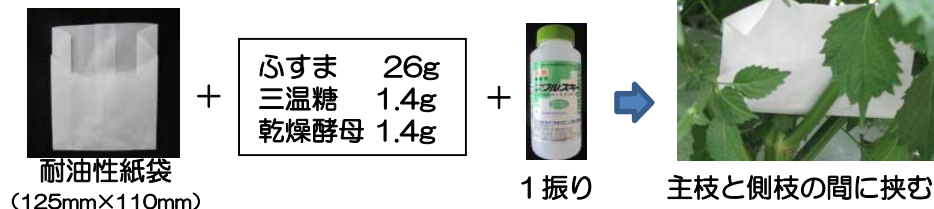
- ① 防草シート展張などによる雑草対策の徹底
(ホトケノザ、ナズナなどいろいろな雑草に寄生)
- ② 夏期のハウスの蒸し込み
(死滅温度・時間：雌成虫は50℃・45分、卵塊は50℃・60分)
- ③ 栽培終了時における残渣の圃場外への持ち出し



成虫・幼虫

チャノホコリダニ

スワルスキーカブリダニの放飼



被害状況



成虫

- ① 放飼時期は3～10月
- ② 設置間隔は10株おきの千鳥状(約700袋/10a)
- ③ 放飼前にチャノホコリダニの発生が見られた場合は、コロマイト乳剤を散布し、7～10日後に放飼

ハスモンヨトウ

4mm目防虫ネットの展張



アブラムシ類

選択性殺虫剤の散布



ハダニ類

選択性殺虫剤の散布

